第25号

まーぶる通信

2017年4月25日

発行者　福富 恵美子／編集者　髙田 一範
法人 〒615-0882　京都市右京区西京極葛野町 39 番地
TEL 075-874-5639（代表・居宅）075-874-5617（デイ・ショート）FAX 075-874-5640（共通）
E-mail：marble.2009@room.ocn.ne.jp
にじょう 〒604-8411　京都市中京区聚楽廻南町 8-21　TEL 075-748-0220 FAX 075-748-0221
E-mail：nijo@marble2009.org
ホームページ：http://www.marble2009.org　Facebook：http://fb.com/465262290180944

谷君！ 徳永君！ 卒業おめでとうございます！！



まーぶるにじょうでは３月に谷君と徳永君が卒業を迎え、まーぶるにじょう初めての卒業をお祝いする会を開きました。

午前のプログラムでは、まーぶるにじょうでの思い出がいっぱいつまったスライドを流し、「これなことあったね」、「いい顔してるね」と、写真を見ながら思い出話に花を咲かせました。



午後は「まいけるず」さんに来てもらい、みんなの大好きな「ミッキーマウスマーチ」や「旅立ちの日に」などの卒業ソングを演奏して頂きました。

最後に花束とアルバムをプレゼントし、谷くんと徳永くんのお母様から一言ずつ頂きました。その中で、まーぶるにじょうでの様子を連絡帳で読むのを楽しみにしてくださっていたことや、家でも学校でもない場所に通うようになり、初めて放課後らしい放課後を過ごせたと思うと話してくださり、まーぶるの職員としてはとても嬉しい気持ちになりました。また、これからも子どもたちが、それぞれの放課後を過ごしてもらえるよう、一緒に過ごす時間を大切にしていきたいなと改めて思いました。







岩間 恵

卒業を迎えて

この春、まーぶるにじょうから初めてお二人の卒業生が巣立って行きました。巣立ちを迎えられたお二人のお母様に、今の心境をお話しいただきました。
お二人は 4 月からは五条にあるまーぶるのデイサービスで、大人の仲間入りをされ、日々頑張っておられます！！

From 谷 陽子さん

小学部の頃は学校・家・病院、この３つが遼太の居場所でした。中学部になると少しずつ体調が整い始めましたが、それでもまだ手術をし、落ち着くまでに時間がかかりました。

高等部になってようやく落ち着き始め体力もついてきた中、まーぶると出会いました。

こんな重度の子でも人並みに思春期ってくるのだと、親として惑い出した時期に、家と学校以外に居場所ができたことは、遼太にとって自分を出せるもう一つの場所を見つけられた大きな進歩でした。

遼太の想いをしっかりと受け止め、時に笑い楽しく過ごさせてもらったまーぶるのスタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

一緒に過ごしたお友達､ほんとうにお世話になりました。ありがとうございました。

From 徳永 佐智子さん

皆さん大変お世話になりありがとうございました。

利用することになったきっかけは、貴充が高２の時に私が病気になり、手術をすることになり、貴充をどうしよう…と困っていたところで、まーぶるにじょうさんが６月にオープンされることを知り、福富さんにお会いして６月から利用させてもらえることになりました。

手術中はヨゼフのショートステイに預けましたが、退院後はどうしても貴充を楽しく過ごせる場所に行かせてやりたくてショートから連れて帰り、まーぶるにじょうさんを利用させて頂き本当に助けて頂きました。

今から思えばその頃の貴充は環境が目まぐるしく変わり、顔は少しこわばっているようでしたが、私の代わりに毎日まーぶるにじょうさんでいっぱい抱っこしてもらい、お友達と楽しく過ごして、段々と笑顔が戻ってきました。

それからは週３回放課後をめいっぱい笑顔で楽しむことができました。

なかなか予離れできない私でしたが、まーぶるにじょうさんのお陰で、ほんの少し予離れできたような気がします。貴充にとっても私にとってもまーぶるにじょうさんは成長させてもらえた場所でした。
あっという間の１年９ヶ月でした。本当にお世話になりました。

人に甘えるのが下手な私でしたが、スタッフの皆様にはいっぱい甘えさせて頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです。ずっと仲よくして下さったお友達ありがとうございました。

４月からはぽぽろさんにお世話になります。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



気をつけて！
意外に強い春の紫外線

暖かくなり外に出るのが気持ちいい季節になりましたが、この季節はついつい冬の延長で紫外線対策を怠りがちになります。
お肌の状態も冬の間に乾燥して疲れているので紫外線の影響を受けやすくなっています。
気温と紫外線は関係がないので、まだ肌寒くても紫外線対策をしていきましょう。



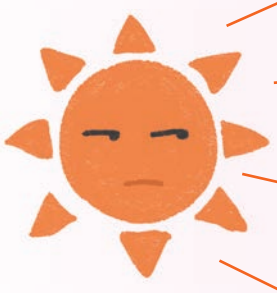
紫外線って？

紫外線には UVB（波長の短い紫外線）と UVA（波長の長い紫外線）があります。

UVB－真皮層まで届かず夏に強くなる。赤みを伴う炎症や皮むけを起こす。

UVA－真皮層まで届き春でも夏と変わらない強さで届く。波長が長いので雲やガラスも透過し黒くなり日焼けを起こしシワやシミを作る。





紫外線対策は？

①日焼け止めを使いましょう。

②外に出る時は日傘や UV カットの上着や手袋を着けましょう。

③保湿を心がけて紫外線に負けない丈夫な肌にしましょう。

④目からも紫外線は入るので、外出時はつばの広い帽子やサングラスで保護しましょう。





日焼け止めの使い方

・一度きり塗るのではなく、こまめに塗りなおしましょう。

・塗り残しがないよう、たっぷり塗りましょう。

・SPF が高いと肌にも負担がかかるので、SPF20 ～ 30 程度のものをこまめに塗るのが効果的です。

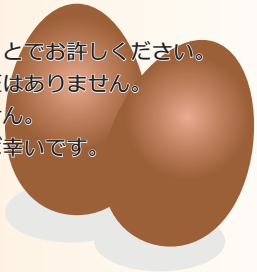




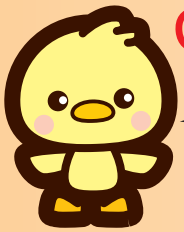
日頃から保湿を心がけて日焼け止めや紫外線防止グッズを上手に使い、日焼け本番の夏を迎えましょう。

教えて！理事長！

まーぶるの若手スタッフからの「これってどうなってるの？」に Q&A 形式で答えていきます。
一応、障がいのある方々の暮らしに関することなどを中心にと思っていますが・・・
どんな脱線があるか？成り行き次第・・・と言うことでお許しください。
そして、アンサーは正しいかどうかについての保証はありません。
そして、回答者は理事長のみではないかもしれません。
以上のことをご確認いただいてお読みいただければ幸いです。



Question



その５！
ショートステイって何？

（そろそろ最終回！になるか？）

Answer



　ショートステイの制度と種類、そして、前回は医療型ショートステイの課題についてでしたが、今回は、まーぶるも行っている、福祉型ショートステイの課題について･･･

B. 福祉型短期入所

　前々回（23 号）で、福祉型ショートには、併設型（入所施設への併設）と、単独型（入所施設ではなく、短期入所のみを行っているもの）があると書きました。

＜併設型＞

　元々は、医療者が常駐していない入所施設で行われており、知的障がいのある方の暮らしておられる 50 人から 100 人とかの大型の施設の中で、4 人分とかを短期入所としてベッドを空けていました。これが、福祉型併設型と言われるものの最初といえますね。
　日課などはほぼ、併設されている入所の方と同じ流れとなります。

＜単独型＞

　最近は、大きな入所施設の併設型ではどうしても建物の構造的に大きなところがなじめない方が居られるということで、単独型の所を希望されることも良くあります。
　福祉単独型のショートステイは、小規模で、ゆっくりすごせる。という大きなメリットがありますが、なかなか事業所が増えていきません。そのためまーぶるでも、たくさんの希望の方をお断りしたり、日程を変更させていただいたりといったことをお願いしています。
　そのような現状の中で、課題と言えば、ズバリ！事業所が受け取る報酬が低い！ということにつきますね。
　単価があまりにも低くて採算が合わないことからなかなか事業所が増えないわけです。
　今後、医療的ケアが必要な方（大人も子どもも）が地域で暮らすということ（医療者の言葉で言えば、「地域に返す」）が増えていくことを考えたら、この福祉単独型短期入所事業が充実し、事業所が増えていかなければいけないと思います。

　さて、第 5 回まで続いたショートステイって何？シリーズ。未だ未だ書き切れてないことが山ほどありますが、一旦ここで区切りをつけます。
まとめとしては･･･
　医療型、福祉型、併設型、単独型、各々の特徴があります。
　どこが良いかはご本人が選ぶことです。ご家族がご本人に変わって選ぶこともありますが、なんにしろ、ご本人がそこで数日か過ごされるわけですので、より快適に過ごせる場をえらぶことができる事が大切ですね。
　次回は別の Q にお答えしていきたいと思います。

お知らせ

緊急時連絡先が変わりました。

４月１日より右記の番号に変わりました。
再度ご確認と登録番号の変更のほどよろしくお願いします。

080−4014−5617

電話番号のお掛け間違いにご注意ください